

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	92
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
	法令・例規等				
事業目的	対象	要介護高齢者で認知症があり、独居又は高齢者世帯の人			
	意図	冬期間の生活の場の確保			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・短期的入所特別拡大事業は、認知症独居高齢者、高齢者世帯の方で、冬期間在宅生活することが著しく困難であったり、要介護状態が著しく悪化するおそれがあり、かつ福祉施設等の利用ができない方に対し、冬期間の生活の場としてショートステイを確保しました。		短期的入所特別拡大事業委託料				44				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	短期的入所特別拡大事業利用者	人	2	1	2	2	2	1			
	短期的入所特別拡大事業利用日数	日間	42	5	42	6	42	3			
1年度決算(千円)	予算額	293	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	44									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	44										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	3	293	44	短期入所特別拡大事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・冬期間に在宅での生活が困難な方の支援のために引き続きショートステイを確保する必要があります。冬期間は施設入所の需要も高まるため、あらかじめ現状以上の枠を確保することは難しい状況です。
上記の課題解決のための有効策	・冬期間の在宅生活困難者の情報をケアマネージャーと共有し、支援が必要な方への確実な利用に繋がります。
次年度に向けての取り組み	・引き続きショートステイを確保するとともに、適切な運用を行います。